

京都大学 生存圏研究所  
 平成21年度後期共同利用研究申請課題一覧  
 MUキャンペーン観測(長時間観測)

研究分野  
 A:対流圏・成層圏  
 B:中間圏・電離圏他

A:対流圏・成層圏

審査番号	研究代表者 (研究代表者の所属機関名・職名)	研究課題	研究協力者数	新規・継続の別	
				継続の場合、年度を表示 延べ使用申請時間数	h
1 A-31	山本 真之	降水過程の定量化に向けたレーダー観測キャンペーン(REQUIPP)	8名	継続	
	京都大学生存圏研究所・助教				h

B:中間圏・電離圏他

審査番号	研究代表者 (研究代表者の所属機関名・職名)	研究課題	研究協力者数	新規・継続の別	
				継続の場合、年度を表示 延べ使用申請時間数	h
2 B-32	中村 卓司	MUレーダー・新システムを活用した流星ヘッドエコーモードによる流星フラックス、軌道、大気相互作用の観測	16名	新規	
	国立極地研究所・教授			288	h

京都大学 生存圏研究所  
平成21年度後期共同利用研究申請課題一覧

信楽MULレーダー観測

研究分野  
A:対流圏・成層圏  
B:中間圏・電離圏他

A:対流圏・成層圏

審査番号	研究代表者 (研究代表者の所属機関名・職名)	研究課題	研究協力者数	新規・継続の別	
				継続の場合、年度を表示 延べ使用申請時間数	h
1	A-33	森 修一 独立行政法人海洋研究開発機構 地球環境変動領域・チームリーダー	インドネシア・ジャカルタ近郊における豪雨発生機構の解明 ～日周期対流活動と対流季節内変動の相互作用～ 5名	新規	
					h
2	A-34	橋口 浩之 京都大学生存圏研究所・准教授	イメージング・windプロファイラーの開発による下層大気乱流の微細構造の観測 8名	継続	平成20年前期～
					12 h
3	A-35	橋口 浩之 京都大学生存圏研究所・准教授	顕著台風の中心付近における立体構造の観測 4名	継続	平成15年後期～
					24 h
4	A-36	佐藤 薫 東京大学・大学院理学系研究科・地球惑星科学専攻・教授	多チャンネル受信システムを用いた大気乱流微細構造の研究 6名	継続	平成18年前期～
					24 h
5	A-37	前川 泰之 大阪電気通信大学情報通信工学部 通信工学科・教授	衛星通信回線における降雨・風系および屈折率変動に関する研究 1名	継続	昭和63年後期～
					50 h
6	A-38	柴垣 佳明 大阪電気通信大学情報通信工学部・准教授	MU・境界層レーダーを用いた秋雨前線近傍のメソスケール擾乱の研究 4名	継続	平成8年後期～
					200 h
7	A-39	Tian-You Yu School of Electrical & Computer Engineering, University of Oklahoma・Asso.Prof.	High Resolution Atmospheric Observations Using Multi-receiver and Multi-Frequency 1名	継続	平成21年前期～
					24 h
8	A-40	長澤 親生 首都大学東京 システムデザイン学部・教授	対流圏下部気温測定ライダーのキャリブレーション 3名	新規	
					12 h
9	A-41	古本 淳一 京都大学生存圏研究所・助教	信楽MU観測所をフィールドとした大気森林相互作用観測 4名	継続	平成21年前期～
					36 h
10	A-42	古本 淳一 京都大学生存圏研究所・助教	信楽のレイリー・ラマンライダーの長期観測 4名	新規	
					32 h

11	A-43	Chen, Jenn-Shyong	A study on aspect sensitivity of VHF scatterers in the troposphere and stratosphere using coherent radar imaging technique	継続 平成21年前期～
		Dept. of Computer and Communication Eng. Chienkuo Technology University・Asso.Prof.		2名 12 h
12	A-57	下舞 豊志	MUレーダー・マイクロレインレーダーを用いた上空の雨滴粒径分布推定	継続
		島根大学・総合理工学部・助教		2名 h
13		本研究所事業	MUレーダーによる中層大気標準観測 (GRAT MAC)	本研究所事業 注1)
		京都大学生存圏研究所・		-名 h

## B: 中間圏・電離圏他

審査番号	研究代表者 (研究代表者の所属機関名・職名)	研究課題	研究協力者数	新規・継続の別
				継続の場合、年度を表示 延べ使用申請時間数 h
14	B-45	家森 俊彦 京都大学大学院理学研究科・教授	地磁気変化における電離層電場・風の影響および下層大気擾乱に起因する波動現象の検出	継続 平成13年前期～
				5名 240 h
15	B-46	渡部 潤一 自然科学研究機構 国立天文台 天文情報センター・准教授	しし座流星群の観測	継続 平成2年後期～
				3名 28 h
16	B-47	Johan Kero Space and Upper Atmosphere Science Group, NIPR, Tokyo・JSPS PD Fellow	Search for extrasolar/interstellar meteoroids	継続 平成21年前期～
				5名 48 h
17	B-48	Johan Kero Space and Upper Atmosphere Science Group, NIPR, Tokyo・JSPS PD Fellow	Study of meteoric ionization and luminescence using high resolution interferometric radar and an optical ICCD imager	継続 平成21年前期～
				6名 24 h
18	B-49	Csilla Szasz Space and Upper Atmosphere Science Group, NIPR, Tokyo・JSPS PD Fellow	Seasonal variations of meteor rates and origins	継続 平成21年前期～
				7名 24 h
19	B-50	塩川和夫 名古屋大学太陽地球環境研究所・ 教授	多波長イメージング・分光機器とMUレーダーによる超高層大気の同時観測	継続 平成9年後期～
				5名 100 h
20	B-51	寺澤 敏夫 東京工業大学理工学研究科・教授	超高エネルギー宇宙線空気シャワーからのMUレーダー・エコー検出実験	継続 平成20年前期～
				8名 24 h
21	B-52	宮本 英明 東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻・博士課程3年	MUレーダー・ヘッドエコーモード検出実験	継続 平成20年後期～
				4名 24 h

22	B-53	Thampi, Smitha V	Investigations on the Traveling Ionospheric Disturbances and QP echoes using MU radar observations and Tomographic Reconstruction 2名	新規
		RISH, Kyoto University, Japan・ JSPS PD Fellow		72 h
23	B-54	大塚 雄一	伝搬性電離圏擾乱に伴うプラズマドリフト速度の観測 5名	継続 平成20年後期～
		名古屋大学太陽地球環境研究所・ 助教		48 h
24	B-55	阿保 真	GPS同期バイスタティックMUレーダー流星エコー観測による流星軌道推定に関する研究 5名	継続 平成20年後期～
		首都大学東京 システムデザイン学部・教授		96 h
25		本研究所事業	MUレーダーによる電離圏の標準観測 -名	本研究所事業 注2)
		京都大学生存圏研究所・		h

注1)、注2)は生存圏研究所の事業として行う標準観測である。それぞれの観測時間を下記に示す。

注1):原則として、毎月5日間(月～金曜日)実施する。100時間×6ヶ月＝600時間。

注2):原則として、毎月4日間 Incoherent Scatter Coordinated Observation Day に合わせて年間9回実施する。

本年度 前期 には5回実施する予定である。96時間×5ヶ月＝480時間。